

# メカニックデザイナー 大河原邦男

## 次世代消防車デザインプロジェクト

2013年4月25日



**株式会社 吉谷機械製作所**

〒680-0921 鳥取県鳥取市古海356-1  
Tel:0857-23-2211 / Fax:0857-27-1766

## 報道機関の皆さまへ

当社のプロジェクトに格別の関心をお寄せいただき誠にありがとうございます。

一部に伝わっています通り、私ども株式会社吉谷機械製作所は、メカニックデザイナー大河原邦男氏と、次世代消防車デザインプロジェクトで連携をおこなうことになりました。

これも皆さまのご協力あってのことと存じます。つきましては、別紙の通りご案内申し上げます。

## 記

株式会社 吉谷機械製作所（本社：鳥取県鳥取市古海356-1、取締役社長：吉谷典雄）は、メカニックデザイナー大河原邦男氏と、企業イメージ向上を目的する次世代消防車デザインプロジェクトで連携をおこなうことについて、合意しました。

### プロジェクト概要

#### 1：本プロジェクトの名称

## メカニックデザイナー大河原邦男 次世代消防車デザインプロジェクト

#### 2：本プロジェクトの目的

次の時代に求められる防災車両のあり方、あるいは吉谷機械製作所の企業理念などを具現化し、当社の企業イメージ、ひいては防災業界全体のイメージの向上を図ることを目的とします。

#### 3：本プロジェクトの内容

吉谷機械製作所と大河原邦男氏により、次世代に求められる消防車、あるいは防災車両を構想し、それを元に大河原氏がデザインワーク、およびイラストレーションを作成していただきます。

#### 4：今後の予定

2013年10月：東京ビッグサイトで開かれる「東京国際消防防災展2013」会場において、何らかのお披露目をしたいと考えております。



メカニカルデザイン担当

## メカニックデザイナー 大河原邦男

ヒーローメカにとって“カッコ良さ”は欠かせない機能ですが、私は消防車などのリアルヒーローメカも、もっとそれを大事にしているのではないかと考えています。

子どもたちはもちろん、消防隊員にも作り手にとっても「どうだ！カッコ良いだろ」と誇れるリアルヒーローメカを提案したいと思います。ご期待ください。

プロフィール●おおかわらくにお／ 1947年東京生まれ。東京造形大学卒。アパレル会社を退社後1972年にタツノコプロに入社。『科学忍者ガッチャマン』以後メカデザイン専門となる。退社後、中村光毅と「デザインオフィス・メカマン」を設立。『タイムボカンシリーズ』を経て、1978年からフリー。サンライズ作品では、『機動戦士ガンダム』『太陽の牙ダグラム』『装甲騎兵ボトムズ』などのリアルロボットアニメから『勇者シリーズ』などのスーパーロボットアニメのメカデザインを担当。近年は『ヤッターマン（2008年版）』などのギャグアニメ、玩具やゲームなど幅広い分野でメカデザインの第一人者として現在も活躍中。

## メーカーからひと言



### 株式会社 吉谷機械製作所

取締役社長 吉谷典雄

弊社は昭和2年、先々代の吉谷忠右エ門が鳥取市の駅前で創業し、以来80余年、みなさまのあたたかいご支援を受けながら消防ポンプ自動車の製造・販売に従事し、消防の機械化・近代化に大きく貢献してまいりました。

なかでも技術開発には定評があり、国家検定第1号となる「A1級ポンプ」の開発、消防車間での水の中継を容易にした「中継圧制御バルブ」、あるいは「GVモニター」など、オリジナリティあふれる数々の技術で、消防車の歴史を築き、業界をリードしてきたという自負はあります。

ただ、その一方で、技術ばかりが消防車に求められるものではない、そういう思いがいつもありました。そんな中、大河原邦男さんとの出会いがあり、今回のプロジェクトがはじまりました。大河原さんはメカニックデザイナーの第一人者であり、数多くのヒーローメカを産み出した方です。次世代のレスキュー車両をデザインしていただくにあたり、大河原さん以上の適任はおられないでしょう。

デザイン性の高い防災車両の提案が、業界全体のイメージアップのきっかけになり、レスキューの現場で活躍される人たちの士気高揚の一助になれば幸いです。

大河原さんの提案されたデザインを、今すぐ製品化できると現時点では、はっきり申し上げられませんが、積極的な技術開発と高品質な製品・サービスを提供することで、防災車両メーカーとしての社会的責任を果たしていきたいと決意しております。どうぞご期待ください。

会社概要●株式会社 吉谷機械製作所／創業：昭和2年8月8日／代表者：取締役社長 吉谷典雄  
／資本金：36,000,000円／従業員数：78名（平成25年1月現在。役員、パート1名含む）  
／所在地：本社・工場 〒680-0921 鳥取県鳥取市古海 356-1 ☎0857-23-2211／東京事務所 〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6 川合ビル内 ☎03-3261-5749／九州事務所 〒812-0037 福岡市博多区御供所町 4-17（博多桶屋町ビル内）☎092-262-1488／事業内容：消防ポンプ自動車・消防用機械器具の製造及び販売。前項に付帯し、又は関連する一切の事業。消防設備工事及び保守点検業務

# YOSHITANI

REAL HERO MECHANIC FACTORY

# Rescue Vehicle



*designed by*  
**Okawara Kunio**

プロジェクトロゴ

消次世代消防車デザインプロジェクト

第一報をお聞きになった皆様からたくさんのお問い合わせをいただいております。本来なら個別にご返事すべきところではありますが、この場をお借りして、インターネット上でつぶやかれている疑問なども合わせ、代表的なものにお答えします。

\*

**ご質問：**

なぜ大河原邦男さんに依頼したのですか？

**お答え：**

大河原邦男さんは長年メカニックデザイナーの肩書きでご活躍されていますが、同時にクラフトマンとして実際に製品を開発しておられます。大河原邦男さんが作り手の目線をお持ちのデザイナーでいらっしゃることはとても重要なポイントでした。

**ご質問：**

消防車が二足歩行ロボットになって合体変形するのですか？

**お答え：**

当社はロボットの製造はしておりませんし、このプロジェクトもロボットの開発を前提にしたものでもありません。

しかしながら「レスキューロボット」でキーワード検索されますと阪神・淡路大震災をきっかけに日本国内で救助用ロボットの開発が活発になったことがお分かりになるはずです。二足歩行、あるいは合体変形できる救助用ロボットが、今すぐ登場するかは分かりませんが、SF世界だけの話でなくなっているのは確かです。

**ご質問：**

赤いのですか？（大河原邦男さんデザインによる代表的なメカ「シェア専用ザク」が赤いことにひっかけてのご質問）

**お答え：**

ツイッターでは「シェア専用なのか？」などの投稿が目立ちました。最初に日本に輸入された消防自動車に赤かったことなどがあり、法律の定めで「消防自動車の外装は朱色」と定められていますので、赤をベースとしたデザインになると思います。

**ご質問：**

3倍速いの？（上記「シェア専用ザク」が、通常の3倍速いことにひっかけてのご質問）

**お答え：**

そうであれば嬉しいですね（笑）。少なくとも話題性は3倍以上ありました。大河原邦男さん、ファンの皆様には大変感謝しております。

\*

この他にもたくさんのお問い合わせをいただきました。ありがとうございます。